

ガスふろ給湯器

パッキン

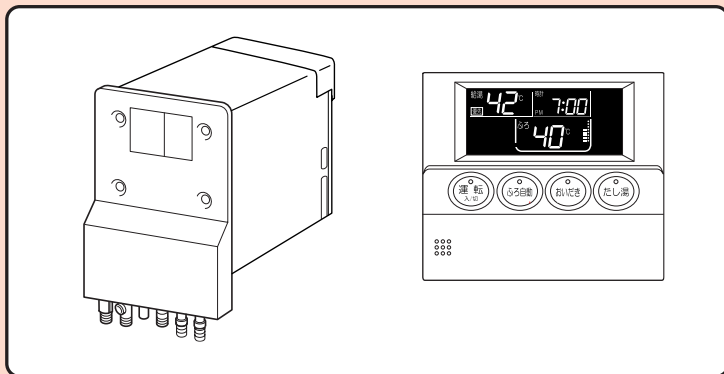
外壁貫通設置形

131-K920型

131-K921型

型式名 WF-1612ATKJ
WF-1612ATL-3

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス
へお問い合わせください。

 **大阪ガス**



734T0885PF

特長・機能の紹介

1 スイッチポンでお風呂が沸かせます。

浴そうの排水栓とふたをして  スイッチを押せば、あらかじめ決めて
おいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



 スイッチを押して沸き上げ完了後から設定した保温時間なら、お湯がさめれば
自動で保温し、お湯が減れば自動でたし湯します。

2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37 ～ 60 まで設定できます。

目次

●特に注意していただきたいこと	1～6
●各部の名まえとはたらき	7～9
●使用方法	
・初めてお使いいただくときは	10
・時刻の合わせかた	11
・お湯の出しかた	12～13
・ふろ自動運転（ふろの自動お湯はりをしたい）	14～16
・おいだき運転（ふろのおいだき・沸かし直しをしたい）	17
・たし湯運転（ふろのお湯の量を増やしたい）	18
・ぬるく運転（ふろのお湯を少しぬるくしたい）	19
・かま洗浄運転（ふろ釜内の残り湯を排出したい）	20
・ふろ自動運転予約（予約した時刻にふろを沸かししたい）	21～22
・音量を変える	23
・表示画面のモードを切替える	24
●機器内部の凍結予防方法	25～26
●点検・お手入れ	27～28
●故障かな？と思ったら	29～31
●長期間使用しない場合	32
●寸法図	33
●仕様	34
●アフターサービスについて	35

特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意	味
	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。	
	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。	
	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。	

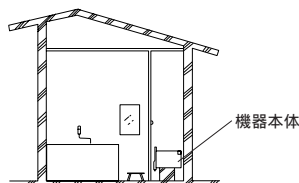
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意	味	絵表示	意	味	絵表示	意	味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項			
	感電注意		分解禁止		アース接続確認			
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く			
	発火注意		接触禁止		ぬれた手の接触禁止			

危険

■機器の設置

- この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



禁止

危険

■ガス漏れに気づいたとき

- すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。
ガス爆発の恐れがあります。



【ガス栓の例】

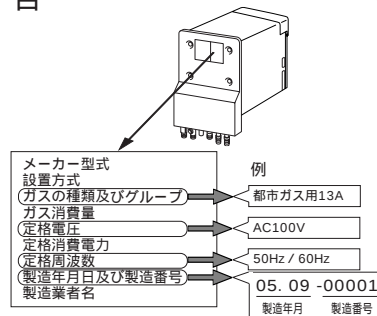


火気厳禁

警告

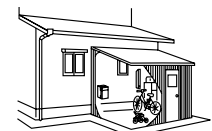
■使用ガスの種類及び使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



■設置場所について

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いをするもおやめください。
- 増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
変色・破損・腐食の原因となります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮してください。（機器の点検修理のための空間については、販売店もしくは大阪ガスにお問い合わせください。）



禁止

■ガス接続

- この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店または大阪ガスに依頼してください。

■使用中の外出、就寝禁止

- ふる自動運転予約を使用時以外は、火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。
火災の原因になります。

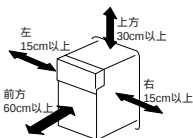


警告

■燃えやすい物とは離す

(樹木、木材、箱など)

- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ(メーカー市販品:WF-SLV)を使用し、10mm以上の離隔距離を確保してください。
火災予防のため。



必ず行なう

■火災予防

- 排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。
- 機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを置いたり使用しないでください。
引火して火災の恐れがあります。
- 機器の周囲や排気トップにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。



発火注意

■やけどに注意

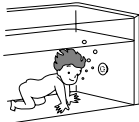
- シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用してください。
やけどのおそれがあります。
- 入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。追いだき中や追いだき後は浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。
やけどのおそれがあります。
- お風呂沸かし時や追いだき時は、循環アダプタ付近は熱くなりますので循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないように注意してください。



高温注意

■子供に対する注意

- 浴そうの循環アダプタの付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 子供を浴室で遊ばせないようにしてください。
浴そうに落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

■異常時の処置

- 点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス元栓を閉めて33～35ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置をしても直らない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
- 地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉めてください。



【ガス栓の例】

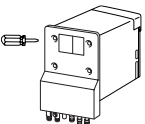


【給水元栓の例】



■分解禁止

- 修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。
思わぬ事故や故障の原因となります。



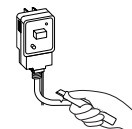
分解禁止



警告

■電気事故の防止

- 電源コードを切断して延長しないでください。
電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。



禁止

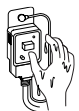
- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
濡んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



- 電源プラグのほりこりなどは定期的に取り替えてください。電源プラグにほりこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



- ぬれた手でコンセントの抜き差しをしないでください。
感電の原因になります。



ぬれた手の接触禁止

- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えることと発熱による火災の原因となります。



禁止

■機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

■ソーラー接続禁止

- この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

注意

■シャワーセット使用時のご注意

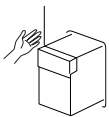
- 高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。
- 高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。



高温注意

■やけどにご注意

- 使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
特に、小さなお子様がいらっしゃる家庭では、注意してください。



接触禁止

■給排気筒トップに指や棒を入れない

- 給排気筒トップに指や棒を入れないでください。
故障やけがの原因となります。

■用途について

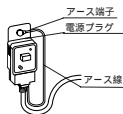
- この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障の原因になります。

■運転停止（消火）時のご注意

- 燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

■電気事故防止

- アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。



アース接続

お願い

■ガス事故防止

- 機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止

- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

■入浴剤や洗剤の使用について

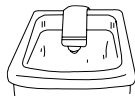
- 硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

■入浴時のご注意

- 浴所内の循環アダプタをタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろのおいだきできません。
また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。



禁止



■市販の補助用具使用について

- この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。
機器の異常の原因になることがあります。

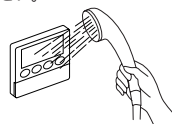
お願い

■リモコンの掃除

- リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については27ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



禁止

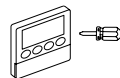


■リモコンの分解禁止

- リモコンは分解しないでください。



分解禁止



■飲用についてのご注意

- しばらく使わなかったとき、はじめにでくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■水道法で定められた飲料水の水质基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない

- 水質によっては機器を腐食させる原因になります。

■断水時のご注意

- 断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じて下さい。給水栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いははじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

■電気事故防止

- 電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

■雷が発生しているとき

- 雷が発生しはじめたら、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
機器が故障する恐れがあります。



電源プラグを抜く

■積雪時の注意

- 積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

■停電のとき

- この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は、蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、10～24ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

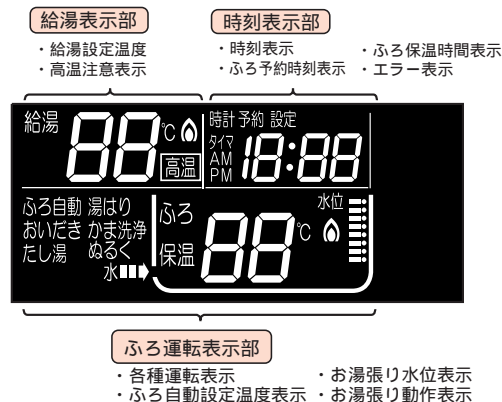
■機器内部の凍結予防について

- 機器内部の凍結予防は、25～26ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■長期間使用しない場合

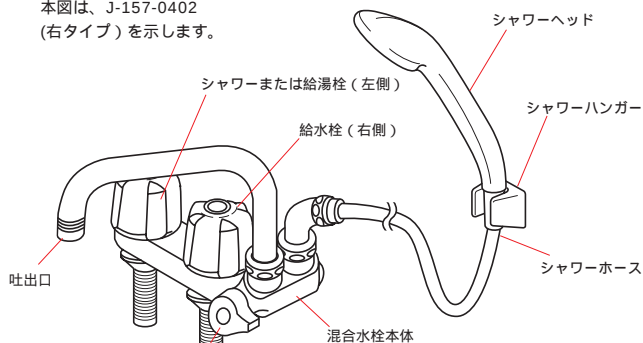
- 長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、32ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

表示部



■ 専用混合水栓（別売部品 シャワーセット J-157-0401,0402）

本図は、J-157-0402
(右タイプ)を示します。



切換ハンドル

右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します。

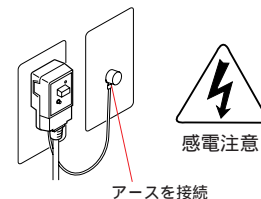
取扱い及び取り付けについては、専用混合水栓（シャワーセット）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

使用方法 初めてお使いいただくときは

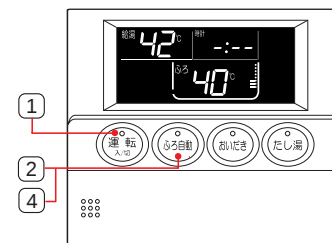
使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっばいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。
5. ポンプの呼び水をします。



- ① 運転スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。
- ② 風呂自動スイッチを押す。
「風呂自動ランプ」が点灯します。
- ③ 浴そうの循環アダプタからお湯が出てくることを確認します。
- ④ 風呂自動スイッチを押す。
「風呂自動ランプ」が消灯します。

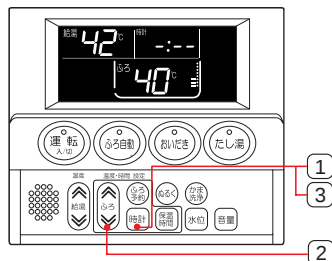


!!! が点滅したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、浴室リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード「!!!」が点滅し給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、運転スイッチを押してエラーを解除し、再度運転スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

使用方法 時刻の合わせかた

現在時刻の合わせかた



時刻表示部初期状態



・「---」が点滅しています。

- ① **時計** を押します。



・「時計」「設定」が点滅します。

- ② ふろ温度・時間設定スイッチで時刻を合わせます。

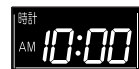
⬆️ を1回押すと1分進み、⬇️ を1回押すと1分戻ります。

長押しすると10分単位で変わります。



・「時計」「設定」が点滅します。

- ③ **時計** を押して確定します。



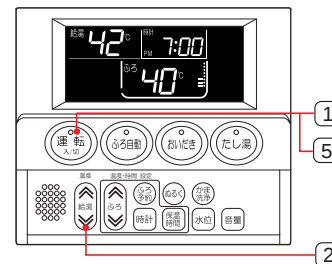
・「時計」「設定」の点滅が止まり、「設定」が消灯し、「:」が点滅します。



時刻設定をしてください

● 現在時刻の設定がされていないと、「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。

使用方法 お湯の出しかた



お湯を使いたい 器具運転開始

- ① **運転** を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。
- 給湯表示部に「給湯」・設定温度が点灯されていることを確認します。



- ② 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

- リモコンから『給湯温度が変更されました』と、音声でお知らせします。
- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50、60の15段階に設定できます。
(37～50間は、1きざみ)
- スイッチは1回押すたびに1段階ずつ調節できますが、⬆️ スイッチを押し続けると45までは速く動きます。
一度設定すれば記憶します。
(電源投入時または停電復帰後は、42設定となっています)

- ③ シャワー栓または給湯栓を開けます。

- 燃焼を開始し、給湯表示部に🔥が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。
(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)



シャワー・給湯停止 器具運転停止

- ④ シャワー栓または給湯栓を閉めます。

- 燃焼が止まり、給湯表示部の🔥が消灯します。
(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



- ⑤ もう一度 **運転** を押す。

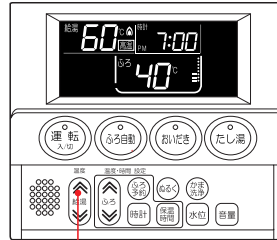
- 「運転ランプ」が点灯します

シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

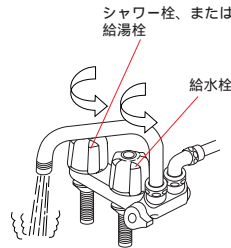
- 給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお勧めします。この場合、給湯温度設定スイッチの $\curvearrowright$ で湯温を50～60 に設定して使われることをお勧めします。

60 に設定にすると、設定中は常に「高温」が2秒間隔で点滅します。リモコンから『あついお湯が出ます』と、音声でお知らせします。

給湯温度設定スイッチ



- 湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量が湯温を調節すると比較的易しく操作できます。



やけどに注意

- やけどに注意
 - 湯温を確認してから使用してください。
- 混合水栓使用時のご注意
 - 高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
 - 高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでる恐れがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

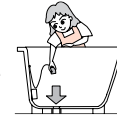
運転を再開する場合

- 運転停止後再び 運転 スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37～50 のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60 であったときは安全のため42 に戻ります。

運転前の準備

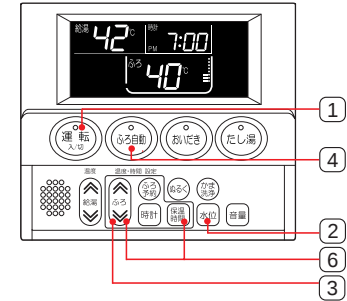
1

排水栓を開めます。
お風呂を沸かす前に必ず排水栓を開めます。



2

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



排水栓はしっかりと

- 浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

ふろ自動運転の使用方法

①

運転 を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

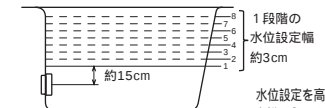
②

水位 を押してお湯はり水位を設定します。

水位 スイッチを押す毎に、希望の水位を1～8の8段階まで選べます。

一度設定すれば記憶します。（電源投入時または停電復帰後は、水位3の位置になっています）

- 水位の目安は、循環アダプタの中心から上方約15cmから約3cm ぎざみの8段階となっています。



設定水位の目安

水位設定を高くすると浴そうによっては、あふれる場合があります。

③

ふろ温度・時間設定スイッチの $\curvearrowright$ で好みのお湯はり温度に設定します。

- リモコンから『ふろ温度が変更されました』と、音声でお知らせします。
- お湯はり温度は、目安ですが、約37から48 の範囲で1 ずつ設定できます。 $\curvearrowright$ スイッチを押し続けると45 まででは速く動きます。



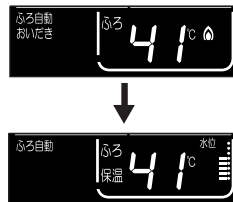
④ を押します。

- 「ふろ自動ランプ」が点灯、給湯表示部に、ふろ運転表示部に「ふろ自動」、「湯はり」が点灯し、 マークが動き自動的にお湯はり開始されます。
- ふろ自動運転開始時に、リモコンから『お湯はり運転を開始します』と、音声でお知らせします。
- お湯はり中、給湯設定温度の変更はできません。



⑤ 沸き上がると自動でストップします。

- お風呂の設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まり沸き上げ運転に入ります。ふろ運転表示部に「ふろ自動」、「おいだき」、 が点灯します。
- 設定温度までの沸き上げが終了すると、「おいだき」が消灯、「保温」が点灯し、リモコンからメロディと音声『お風呂が沸きました』でお知らせします。
- 「保温」が点灯（初回の沸き上げ完了）するまで、、 スイッチは受け付けません。



⑥ 保温時間を設定できます。

-  スイッチを押すと、時計表示部に保温時間を表示し「タイマ」、「設定」、「保温」が点滅します。
(電源投入時または停電復帰後は、4時間設定となっております)
- ふろ温度・時間設定スイッチの  スイッチを押し、保温時間を設定します。一度設定すれば記憶します。
4時間 3時間30分 3時間 (30分刻み) ... 30分 0分
- 再度 スイッチを押して保温時間が点灯し確定します。
リモコンから『保温時間が変更されました』と音声でお知らせします。
- 約3秒後時計表示に戻ります。



⑦ 自動保温・自動たし湯運転となります。

- 初回の沸き上げ完了から、設定した保温時間が経過するとふろ自動スイッチの「ふろ自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。

途中で、 スイッチまたは スイッチを押すと、自動運転を停止します。



ふろ自動運転ご使用上の注意

- 電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は40℃、保温時間は4時間設定となっております。
- 浴そうに残り湯がある場合も スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。
- リモコン表示部に保温が点灯中は、、 のいずれかのスイッチを押しても自動保温・自動たし湯は解除されません。

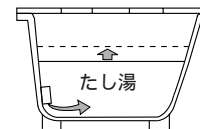
お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

- 保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。このとき、ふろ運転表示部の が点灯します。
- 保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低めに設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。
- 自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から設定した保温時間作動します。



お湯が減れば自動でたし湯します。

- お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯をたし湯し、その後設定した温度までおいだきします。
- このとき、ふろ運転表示部の が点灯します。
- 自動たし湯機能は、初回の沸き上げ完了から設定されている保温時間の間、作動します。



保温運転中に スイッチを押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。



自動運転停止

- ふろ自動運転を途中で止めたいときは、再度 スイッチを押します。
- 「ふろ自動ランプ」が消灯します。
 - ふろ運転表示部の「ふろ自動」「湯はり」が消灯します。



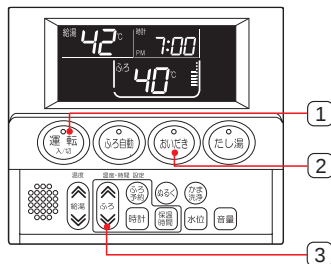
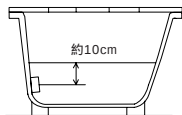
自動お湯はり中の給湯使用について

- 自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの設定温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
- 配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

使用方法 おいだし運転...ふろのおいだし・沸かし直しをしたい

運転前の準備

- 循環アダプタのキャップが充分つかる程度（循環アダプタ中心より約10cm以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだし運転はできません。



使用方法

① 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

② おいだしを押します。

- リモコンから『おいだし運転を開始します』と、音声でお知らせします。
- 「おいだしランプ」、「おいだし」が点灯して、ポンプがまわり浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。
- しばらくしてふろ運転表示部の🔥が点灯し、ふろのおいだしを始めます。



③ ふろ温度・時間設定スイッチの⬆️⬆️で好みのお湯はり温度に設定します。

- おいだし温度の表示は目安ですが、37～48 の範囲で1 ずつ設定できます。（電源投入時または停電復帰後は、40 設定となっています）
- スイッチは1 回押すたびに1 段階ずつ調節できますが、⬆️⬆️スイッチを押し続けると45 までは速く動きます。
- おいだし温度を変更してもふろ自動温度は変更されません。



④ 沸き上がると自動でストップします。

- 「おいだしランプ」、ふろ運転表示部の🔥、「おいだし」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだしを止めたいときは、再度⬆️⬆️スイッチを押します。

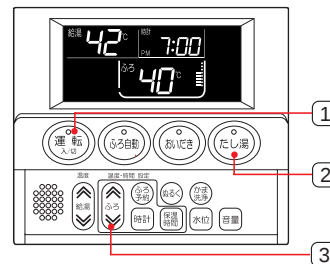
⚠️ おいだし運転ご使用上の注意点

おいだき中に⬆️⬆️（ふろ温度）、⬆️⬆️（たし湯）、⬆️⬆️（お風呂）のいずれかのスイッチを押すと、おいだき運転を終了し、各々の動作に移ります。

お風呂沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からお風呂沸かしをする場合は、「ふろ自動運転」をおすすめします。



使用方法 たし湯運転...ふろのお湯の量を増やしたい



使用方法

① 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

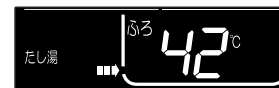
② たし湯を押します。

- 「たし湯」が点灯し、⬆️マークが動きます。
- 浴そうの循環アダプタから、お湯（約20リットルのたし湯）が出て給湯表示部に🔥が点灯します。



③ たし湯温度を変更できます。

- ふろ温度・時間設定スイッチの⬆️⬆️スイッチを押してたし湯温度が変更できます。たし湯温度の設定は37～48 の範囲の1 刻みで設定できます。（電源投入後または停電復帰後は40 となっています）
- 音声でお知らせします。『ふろ温度が変更されました』たし湯温度を変更してもふろ自動設定温度は変更されません。



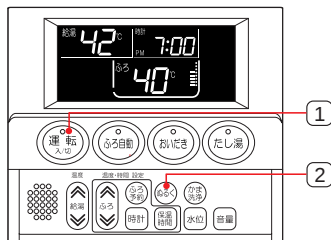
④ たし湯温度まで沸き上げます。

- 約20リットルの注湯が終了すると⬆️マークが消灯、「おいだし」とふろ運転表示部の🔥が点灯し、たし湯の設定温度までおいだします。
- 「たし湯」、「おいだし」、🔥が消灯し、沸き上がり停止します。
- たし湯終了後、ふろ自動設定温度表示に戻ります。



- 途中でたし湯運転を止めたいときは⬆️⬆️（ふろ温度）または再度⬆️⬆️（たし湯）を押してください。

- たし湯温度は、記憶されません。次のたし湯運転開始時のたし湯温度は、ふろ自動の温度になります。
- たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、たし湯量が減少します。
- たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、たし湯温度になります。
- たし湯中に⬆️⬆️（ふろ温度）、⬆️⬆️（たし湯）、⬆️⬆️（お風呂）スイッチを押すと、たし湯運転を終了します。



使用方法

① 「運転」を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

② 「ぬるく」を押します。

- 給湯表示部が「-」、ふろ運転表示部が「Lo」に変わります。
- 「ぬるく」「水」が点灯、□マークが動き、しばらくして浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
- 約10Lのたし水（注水）を行います。



③ 浴そう水をかくはんします。

- 約20秒間循環用ポンプが作動し、終了後「ぬるく」「水」□マークが消灯します。
- 給湯表示部とふろ運転表示部が以前の温度表示に復帰します。
(ぬるく運転前の給湯温度が60 設定の場合、安全のため50 設定になります。)



- 途中でぬるく運転を止めたいときは「運転」または再度「ぬるく」を押してください。



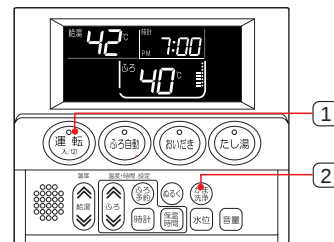
ぬるく運転ご使用上の注意点

- ぬるく運転中は、台所やシャワーなどで給湯栓を開けてもお湯は出ません。水になります。
- 注水は給水をそのまま使用します。給水温度が高い場合、浴そう湯温が下がりにくくなります。
- ぬるく運転中に台所やシャワーなどで給湯栓を開けると、その分だけ、注水量が減少します。
- ぬるく運転中に「運転」、「ふろ自動」、「ぬるく」、「たし湯」、「ぬるく」スイッチを押すと、ぬるく運転を終了します。
- ぬるく運転中に給湯温度の変更はできません。
- 給湯燃焼中は「ぬるく」スイッチは受け付しません。

運転前の準備

1

排水栓を抜いて、浴そう内の水を排水します。

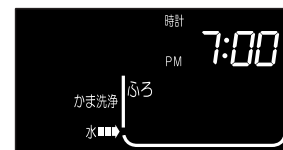


使用方法

① 「運転」を切りにします。

② 「かま洗浄」を押します。

- 「かま洗浄」「水」が点灯し、□マークが動き、しばらくして浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
- 約4L注水し、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流します。
- 注水が完了すると約20秒間循環用ポンプが作動して、ふろ釜内の残水を排出します。



「かしこい」お風呂掃除の手順



- お風呂の排水栓を抜いて、浴そうを空にします。
- 「かま洗浄」スイッチを押してふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
- 浴そうのお掃除をはじめます。
- 浴そうの排水栓を閉めます。

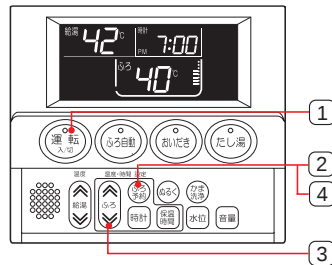
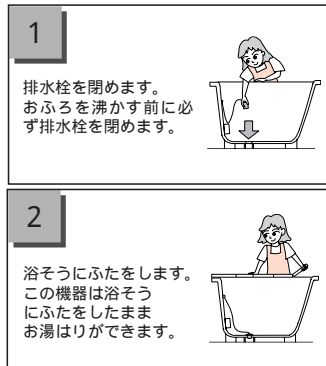


かま洗浄運転ご使用上の注意点

- かま洗浄運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗浄できません。
- かま洗浄運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。充分な排出ができないことがあります。
- かま洗浄運転中に「運転」、「かま洗浄」スイッチを押すと、かま洗浄運転を終了します。
- 使用水圧の違いにより、「かま洗浄」「水」が点灯してから排水が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 長期間お風呂を使用しなかった場合は、かま洗浄運転をしてからお使いください。

使用方法 ふろ自動運転予約...予約した時刻にふろを沸かしたい

運転前の準備



予約時刻設定

① 運転入を押しします。

- 「運転ランプ」が点灯します。

② ふろ予約を押しします。

- 「予約」「設定」が点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。)



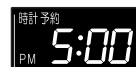
③ ふろ温度・時間設定スイッチの(▲) (▼)で予約時刻(入浴したい時刻)を設定します。

- 押す度に、1分ずつ変わります。
- 押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM 8時に予約)



④ もう一度(ふろ予約)を押しします。

- 「予約」「設定」が点灯し、予約時刻が確定されます。
 - 約3秒後にリモコンから『ふろ運転の予約を受け付けました』と、音声でお知らせします。
 - 現在時刻表示に戻ります。
 - ふろ自動運転予約待機となります。
- 台所リモコンでも同様の操作で予約時刻を設定できます。



現在時刻にもどる

予約運転の開始

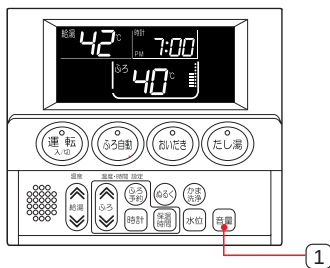
- 予約した時刻の30分前になると、「ふろ自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
(現在時刻から、30分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。)
- 自動お湯はり終了後、ふろ設定温度まで沸き上げると、メロディと音声『お風呂が沸きました』にてお知らせします。
- 初回の沸き上げ完了から設定した保温時間の間は、自動たし湯・自動保温運転を続けます。



予約自動運転ご使用上の注意点

- 現在時刻の設定がされていないと「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。(11ページ参照)
- ふろ自動運転予約待機中に、予約解除するときは、(ふろ予約)スイッチを押してください。
- ふろ自動運転予約待機中に(運転入)、(ふろ自動)、(お風呂)、(お風呂)、(お風呂)、(時計)スイッチを押すと、予約は解除されます。
- 沸き上がりメロディと音声は、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。
- 浴槽に、前日の残り湯が残っている場合(水からの沸き上げ)など、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。
- ふろ自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

使用方法 音量を変える



使用方法

① 音量 を押します。

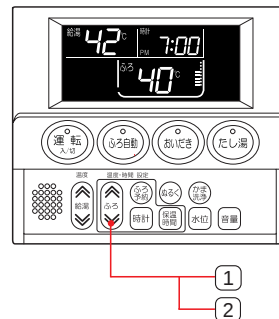
- スイッチを押すたびに切替わります。



- 小 : 『音声は小です。』
 標準 : 『音声は標準です。』
 大 : 『音声は大です。』
 消す : 『音声を消します。』
 とお知らせします。

使用方法 表示画面のモードを切替える

表示画面のモードを節電モード / 常時点灯モードに切替えをおこないます。



① 風呂温度・時間設定スイッチの を同時に約 3 秒間押します。

- 切替え音「ビッピッ」でお知らせします。
- 節電モードから常時点灯モードに切替わります。
- 表示画面が点灯します。

② もう一度節電モードにする場合は、風呂温度・時間設定スイッチの を同時に約 3 秒間押します。

- 切替え音「ビッピッ」でお知らせします。
- 常時点灯モードから節電モードに切替わります。
- 表示画面が消灯します。

お知らせ

- 通常は、節電モードをおすすめします。
- 節電モードでは、30分間、操作しないと画面表示が消灯します。
操作すると点灯します。
- 電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
- 節電モードでも給湯設定温度が60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

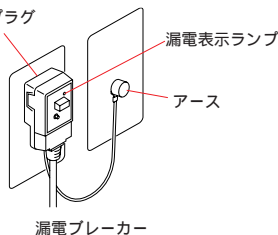
機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

- 電源プラグをコンセントに入れた状態にします。電源プラグ抜けていると作動しませんので、注意してください。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。
(28ページ参照)
- この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。



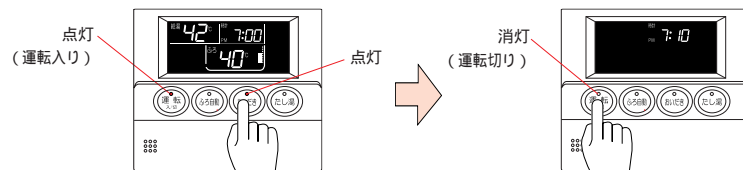
凍結予防に関する注意点

- ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 - 15℃ まで、有風 (4m / 秒) 時 - 10℃ までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
- ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
- この機器は外気温が - 15℃ 以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。
(32ページ参照)

2. 冷え込みの厳しいときの予防方法

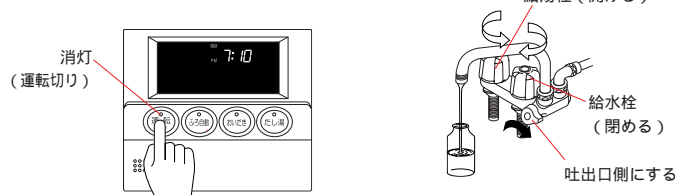
■おいだき側 (ポンプの水抜き方法)

- 浴そうの水をぬぎます。
- (運転) スイッチを入りにして、(おいだき) スイッチを押します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。浴そうの循環アダプタから水の排出が無くなったなら (運転) スイッチを切りにしてください。



■給湯側 (通水による方法)

- (1) リモコン (運転) スイッチを切りにします。
 - 「運転ランプ」が消灯します。
- (2) ガス栓を閉めます。
- (3) おふる場の給湯栓を開けて、1分間に400cc (牛乳びん2本分) ぐらいの水を浴そうに流し込みます。(流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行ってください。
(32ページ (長期間使用しない場合) 参照)



凍結したときは

- 凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
- 凍結したまま使用すると、機器に異常が生じ危険です。
- 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- 凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(保証期間でも有料)
- 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

点検・お手入れ



高温注意

- お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



分解禁止

- 機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのにおいはしませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

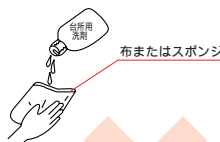
チェック!



お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。

- ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装のがれたり腐食の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のがれの恐れがあります。
- リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
- 循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



禁止

■漏電ブレーカーの点検

- 漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行なってください。

- ① テストボタンを押します。→漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

- 月に1回以上の作動確認を行なってください。

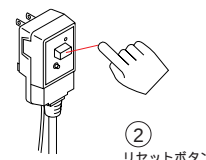
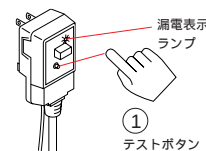
正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
作動確認後は設定していた温度、水位、現在時刻、自動運転予約タイマ等が初期値になります。

- ・給湯温度 42 ・お湯はり水位 3 ・ふろ自動温度 40
- ・現在時刻 - : - : ・保温時間 4 : 00 ・自動運転予約時刻 PM 7 : 00
- ・画面表示 節電モード



必ず行う



■循環アダプタのお手入れ

- 循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。
- 月に1回以上、掃除してください。循環アダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。



必ず行う

- ① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。
- ② 循環アダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします
- ③ 循環アダプタキャップの目印を 切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。



循環アダプタキャップの取り付けは、循環アダプタキャップの 目印を 切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。
循環アダプタキャップは必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

現 象	お 調 べ い た だ き た い こ と
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。(28ページ) ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。(25,26ページ)
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていますか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていますか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水(湯)がふろ循環アダプタより上にありますか。 ●呼び水をしましたか。(10ページ)
おいだきがすぐ消火してしまう	●ふろおいだき温度設定が低くなっていますか。 ●循環アダプタキャップがはずれていませんか。(28ページ) ●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。(28ページ)
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。(28ページ) ●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(28ページ)
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、水位が初期値になります。(28ページ)
浴そうの水位が低くなった	●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(28ページ)

エラーコードの表示をお調べください

表 示	故障と思われる範囲または原因	処 置
1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2	給湯不着火 給湯使用時、途中消火(失火) ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火(失火)	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを切りエラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
1 4 0	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
2 5 2	ふろ循環系統の故障または異常	浴そうの循環アダプタキャップが充分につかるまで水(湯)がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
1 0 1	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。
9 9 1	ファンほこりづまり異常	給湯、自動が使用できない状態ですので、修理依頼してください。
1 0 2 9 0 2	ふろ燃焼異常	おふろを沸かすことはできますが、時間がかかる場合もあります。エラー表示を解除し、たびたびエラー表示が出るときは、修理依頼してください。



リモコン表示ランプが点滅しているときは

- この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。(上表で確認してください。)
- エラーコードの点滅解除は、 スイッチを押します。
- 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード(511, 512, 311, 331, 322, 432, 721, 722, 611, 310, 700, 710など)が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店か、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、28ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

長期間使用しない場合

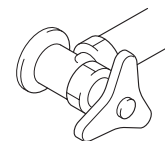
次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がる。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がる。	消火後30秒間はポンプを回転させてお風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めて循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくするとなくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終わりに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●給水圧が低い場所で給湯と自動お湯張り等を同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へもお湯を排水しますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞るすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞るすぎると（約 2L/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30 近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出さか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
ふろ自動お湯はり中に、配管から音がする。ふろ循環アダプタから白いお湯が出る。	ふろ自動お湯はり中に、お湯はり量を絞り器具の異常を診断しているため、水圧が高い場合など配管から音がします。また、水量を絞っているため、お湯が白くなる場合があります。

● 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガスの元栓を閉じる。

2. 給水元栓を閉じる。



3. 機器の水抜きを行う。

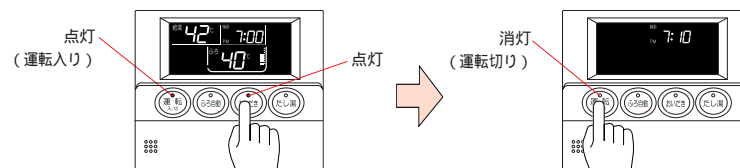
水抜きの手順

(1)給水、給湯配管に水抜き栓がある場合は、水抜き栓を外す。

(2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。

(3) 浴そうの水を排水する。

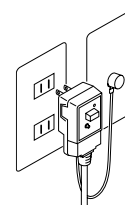
(4) 運転スイッチ入りにして、おいだきスイッチを押し、ふろ循環アダプタから水の排出が無くなったらいきなり運転スイッチを切りにしてください。



このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

4. 電源プラグをコンセントから抜く。

給水及び給湯配管に水抜き栓がない場合は電源プラグをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。



● 再使用については10ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

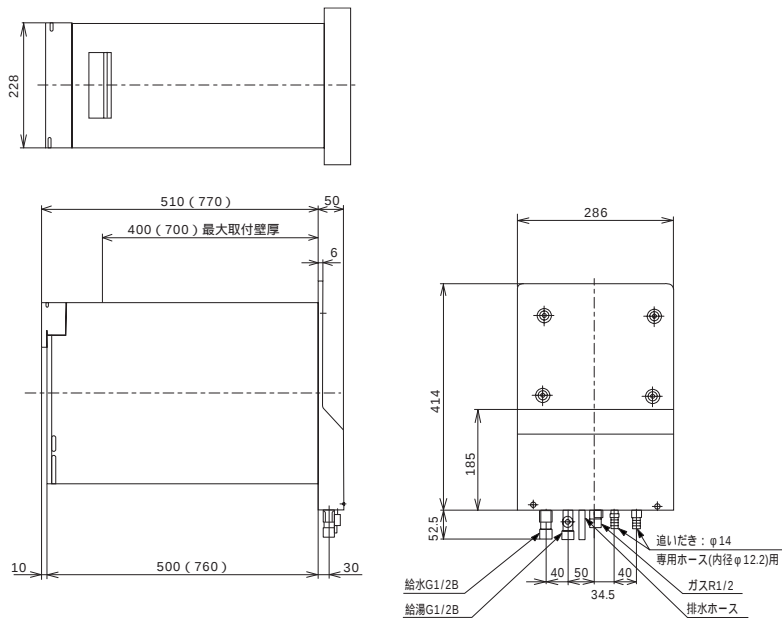
寸 法 図

■ 本 体

131-K920

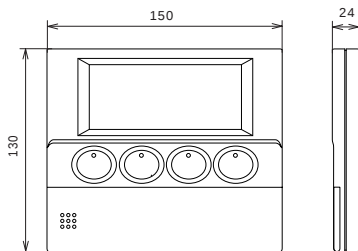
() 寸法は131-K921を示します。

単位：mm



■ 浴室リモコン (別売部品)

単位：mm



仕 様

■ 仕 様 表

項 目	仕 様	
本 体 型 式	131-K920	131-K921
外形寸法 (本体)	幅286×高さ467×奥行560mm	幅286×高さ467×奥行820mm
壁 貫 通 部 寸 法	幅228×高さ332×奥行510mm	幅228×高さ332×奥行770mm
質 量 (本 体)	25 kg	30 kg
接 続 寸 法	ガ ス	R1/2 (TU接続)
	給 水 ・ 給 湯	G1/2B
	ふ る 循 環	φ 14mm専用継手
標準ガス消費量 kW	ガス質	13A
	給 湯 最 大	34.9 (30,000kcal/h)
	給 湯 最 小	5.8 (5,000kcal/h)
	ふ る	9.9 (8,500kcal/h)
	同時 (最大)	43.0 (37,000kcal/h)
電気定格	電 源	AC100V (50 / 60Hz)
	消費電力 (給湯・ふろ 同時使用時)	115 / 125W
	凍結予防用ヒーター	64 W
最 低 作 動 水 圧	19.6 kPa (0.2kgf/cm ²)	
使 用 水 圧	53.9 (動水圧) ~ 784kPa (0.55 ~ 8kgf/cm ²)	
制御システム	給 湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御
	ふ る	温度設定沸上げ (37 ~ 48)、(給湯比例制御追従式)
	ファン制御	DCファンによる回転数制御
排 気 温 度	260 以下	
安 全 装 置	・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・ファン回転検知 ・沸騰防止装置 ・漏電ブレーカー ・過圧逃し弁 ・残火安全装置 ・凍結予防用ヒーター	

■ 出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガ ス 種	標 準 号 数 (号)	温度上昇と標準出湯量 (リットル / 分)				
		水温+15	水温+25	水温+30	水温+40	水温+50
13A	能 力 大	16	* 26.7	16.0	13.3	10.0
	能 力 小	2.5	4.1	2.5	-	-

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて



メモ欄として活用してください。

■アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名・・・・・・・・・・ガスふる給湯器バックイン
2. 大阪ガス商品コード・・・・器具の前面上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード・・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N)131-K920

大阪ガス株式会社

■転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要になりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料になります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

■保証・補修について

●保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

ただし、当製品製造打切後10年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■定期点検のおすすめ

- より安全にお使いいただくために、定期的（年に一度程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。



メモ欄として活用してください。

大阪ガスのお問い合わせ先

<お客さまセンター>

■大阪リビング営業部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話	0120-0-94817
■南部リビング営業部	〒590-0973	堺市住吉橋町2-2-19	電話	0120-3-94817
■北東部リビング営業部	〒569-8569	高槻市藤の里町39-6	電話	0120-5-94817
■兵庫リビング営業部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1丁目8-2	電話	0120-7-94817
■京滋リビング営業部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺栗田町93	電話	0120-8-94817

お電話のおかけ間違いのないようにお願いいたします。
(現在地、電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)
大阪ガスにご連絡ください。